

令和4年1月14日

エネルギー消費性能計算プログラムにおける更新予定の内容

現行バージョンからの変更点は、次の通りです。

●Ver3.1.1→Ver3.1.2（令和4年1月14日）●

<外皮>

1. 「当該住戸の外皮面積を用いず外皮性能を評価する（ここで計算）」を選択した場合に表示される入力項目において、ヘルプボタンを押した際の遷移先を修正しました。

<太陽熱>

2. PDF上の「集熱器の集熱性能試験時における単位面積当たりの空気の質量流量」の単位が誤っていた不備を修正しました。

●Ver3.1.0→Ver3.1.1（令和3年11月11日）●

<外皮>

3. 外皮性能の評価方法に「当該住戸の外皮面積を用いず外皮性能を評価する（ここで計算）」を選択した場合の、下記の外皮仕様の入力の下限値を0.001から0に変更しました。
 - 屋根または天井の熱橋の線熱貫流率
 - 壁の熱橋の線熱貫流率
 - 床の熱橋の線熱貫流率
 - 屋根または天井と壁の熱橋の線熱貫流率
 - 壁と壁の熱橋の線熱貫流率
 - 壁と床の熱橋の線熱貫流率
4. ヘルプボタンを押した際の遷移先を入力ガイドに変更しました。
5. 地域の区分に「8 地域」を選択し、床下空間を経由して外気を導入する換気方式の利用において「通年利用する」とした場合に、計算できない不備を修正しました。

●Ver3.0.0→Ver3.1.0（令和3年10月1日）●

<給湯>

6. 熱源機の種類に「電気ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯温水暖房機（暖房部：ガス | 給湯部：電気ヒートポンプ・ガス）」を選択し、電気ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯機の指定において「品番を指定しない（パラメータを入力する）」とした場合に、暖房設備の設計一次エネルギー消費量が正しく計算されない不備を修正しました。